

動物用医薬品副作用症例報告 (平成17年12月分)

薬事法第77条4の2に基づく動物用医薬品副作用症例報告を次のとおり掲載する。

医薬品の名称 (製造(輸入)業者名)	副作用発現動物						副作用等発現の概要及び転帰							
	種類	性	年齢等	投与前の健康状態・疾患等	関連医薬品の投与歴等	既往歴	副作用歴	投与量・投与方法	投与年月日	併用薬	副作用発現年月日(投与後時間)	副作用等の種類	講じた処置	転帰
“京都微研” キャナイン-6 (ジステンパー・ 犬アデノウイルス (2型)感染症・ 犬パラインフルエンザ・ 犬パルボウイルス・ 犬コロナウイルス感染症・ 混合生ワクチン) (株)微生物化学研究所 製造番号：12	犬	雌	3月齢	健康	なし	なし	なし	1ml/頭、皮下注射	平成17年12月18日	なし	平成17年12月18日	アレルギー反応、顔面腫脹、その他(循環器系)(ワクチン接種2分後に顔面浮腫、心拍機能低下を認める。)	治療投薬：デキサメサゾン、ボララミン、酸素吸入	回復
<p>《企業の意見及び対応》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当獣医師：ワクチンによる反応と考えられる。 ・企業：ワクチン接種後2分後に顔面浮腫、心拍機能低下が起きたことから、ワクチンによるアレルギー反応である可能性があると思われる。ワクチン添付文書の副反応欄にはアレルギー反応またはアナフィラキシー反応を起こす可能性を記載し、注意を促しているところで、今回の場合獣医師の適切な処置が功を奏した例である。 ・対応：ワクチン添付文書の制限事項として、本剤を注射後、副反応(アナフィラキシー等)による事故を最小限にとどめるため、注射後しばらくは観察を続けること。帰宅させる場合は、なるべく安静に努めながら帰宅させ、当日は帰宅後もよく観察するよう指導すること。また、副反応として、本剤の注射後、一過性の発熱を示すこと、過敏な体質のものでは、まれにアレルギー反応またはアナフィラキシー反応が起こること等を記載しているが、今後とも安全性及び副作用情報についてはより注意深く情報を収集するように努める。 														

家畜衛生週報 (No. 2925) より